京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年紀元二千五百七十年
本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵稅一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
京城西署西小門通(電話六六三)
發行所　京城新報社

●蒙古の獸毛貿易

蒙古に於ける牧畜事業は蒙古全体の富源にして獸皮、獸毛等の貿易は從來在蒙古猶太人の手によりて營まれ之より北京、天津等の外商に渡されたるものなるも四五年前より在留外商等は獸毛取引の有望なるを見て追々蒙古內地に侵入するに至り古北口、多倫諸爾の各地に於て取引を見るに至りしが何分西蒲洲よりかけて一帶の平原には馬賊の橫行する所となり從つて取引方法の如きも專ら蒙古商の手を藉されば成し能はざるの現狀なれば未だ發達を見ざるも獸皮の需要としては綿布に超すものなく而も其の價格甚だ低廉にて天津諸地方の價格に比し四五割以下にあれば近時漸く本邦商人の入り込むもの續出せんとする傾向あり熱察地は庫倫、鄭家屯種牧場等にして鄭所より更に奉天に廻送さるものなるが蒙古に於ける牧畜は綿羊四十萬頭、山羊千百萬頭、牛八百万頭、馬五百萬頭、駱駝四十萬頭以上に達し而も其の大部分は獸毛獸皮として輸出せられ獸骨の如きは殆ど山野に拋棄し去られて又省みるものなき現狀なりと云ふ

●清國麻の麻袋

清國麻は本年二番刈の不作に終りたると又歐洲市場の需要頗る旺盛を極め大口物の商談頻りに行はれたると又本邦本年產の白麻が水害の爲め痛く打擊を負ひて凶作なりし爲め需要を喚起し自然相場昂騰を來したるが一方對淸爲替の有利となりたれば這の機會に乘ずる大手筋の買物現はれ同時に歐洲よりも有功なる買注文を添へたれば旁々產地の氣配は益々促進されたるか殊に三番刈は最近益々三分作と確定したれば供給不足を告ぐるは明白なるが故に賣側は確實に騰高を見越して容易に賣應ぜざれば手合せ毎に幾分かの上進を生じ兩三日中には必ず五六十錢高を重ぬる始末にて來春に至り益す品薄を招ぐに於ては果して那邊迄相場の上伸を見る可きか殆んど豫想し能はざるが如き狀態なれば延いて之等は麻袋に影響し來り市場在來の高値と貨物の寡多なる在荷は需物の需用起らず品薄を告ぐると雖も外

尚は二十六錢見當にて手合せを見たりしものは原料高は一層著しく强含み氣配昂と變じたる結果は更に新物の需用なき有樣となりたれば本年の大豆界は大豆粕橫ど相俟つて昨年の如き新物を使用も能はざるが如き困難に逢着するならんと云ふ

●金鳥山の風穴

今回新たに發見したる蠶種貯藏庫金鳥山の風穴に關しては過日農商工部より三田技手出張調査を遂げたるが右風穴は金鳥山の七合目に位し冷藏窟としても最も好適の地區にして去る十日同技手の觀測せし處に依れば同山の麓は午後二時の最高溫度に際して攝氏二十五度五合目には十四度而して七合目の風穴は十一度にして正午は八度なりしといふ而して同風穴は地方民の氷を貯藏する處にて六月頃に至りて最も盛んなる由なるが農商工部に於ては來年一月同所に觀測所を設けて之れが調査試驗を爲し蠶種の貯藏は來年三月初旬頃より實施の豫定なれども如何なる方法に依つて試驗を爲すやは未だ計畫の運びに至らずといへり

文苑

「青邱」を拔いて

「青邱」とは京城俳士の熱心が生み出した一雜誌(非賣品)の名である、俳句は藝術である藝術は努力を要すると喝破して漢城の天地に一異彩を放つた此の誌の前途は無論健全なる發達を遂ぐること必せり矣……であるが專門でなき……所謂餘技の熱誠は醒め易い希くはより以上の奮勵を望むものは只吾人のみではあるまい。漢城の天地が物質的政事的の如き極めて難澁の時代を去りて今玆に藝術上の新芽を萠らしたるは極めて尊き價値がある、併し此誌を拔いて其俳脉(換言すれば憧影の範圍)か所謂日本派てふタイプの多きに見た時諸士が俳句の傾向を知つて聊か落膽したが、藝術としての俳句の向上を期する諸士はよもや他のタイプの句を捨つるようなこと無きを信ずる。「青邱」てふマガジーン宛かも枯林に花を着けたように、明瞭な別趣味な色彩を示した不考郎君の熱誠及び諸士の努力は、大に感謝に堪へぬ、細部は後便として玆に敬意を表するのである。(秀峯)

◎夜の空氣　ひの字

寒月は南大門の彼方に照りて、雪はうつすりと殘んの色を家根に見せ、電車はキー／＼と電光の光りを投げかけて過ぐる或る日の宵、風なき街路を辿りて丙き小路を入れば「田舍屋」と云ふ飲屋ありき、名に相應しからぬ煉瓦の門を過ぐれば、出し拔けに二階より「改めて獻上」と鮑つぱき仇聲が耳を掠めたとたん、さつと三味の音の陽氣な上調子は冷たき夜の空氣に響いた。

和歌募集

勅題「寒月照梅花」

選者　九皐館去留

何首にても隨意、用紙用箋類も又御隨意の事、締切期限十二月廿五日、發表は四十四年一月元旦の本紙上を以てす、同好の士奮つて投詠せられんことを希ふ

十二月二日　本社編輯局

山中鹿之助

第四十回　西尾麟慶演

倦て是より鹿之助は大谷猪之助に別れまして播磨路へかゝりました、夫より玆に一日其處に三日と逗留を致し其風景を見、此處は誰の領地と相成つて居るや、又浪人或は力あるもの、剛勇の者等を尋ねて參りまする、日を重て玆に四月の上旬と相成りました、はのめき出る氣の勢いとも爽かに聞へ、遲き梅早き櫻、山郷は蛙の聲もあり、菜種の花も走地近地へ見へ、此方は山の間へ雪處々に見へる、其下は滿然と流れてまゐりまする谷川、如何にも景色の宜き處、玆に腰を打かけまして思はず四邊を眺めて居りました、俄に足許へ水が押てまゐりまするかと思へば、又其水は一時に引く、又暫く致しまするとを見る／＼內に足許へ其水が押し來ります、是はと驚き荷物を肩にして立上つて引退る、水は底に流れて溯ぼつて一時に二尺も三尺もかゝる流れ强き水が增す譯れあるべき譯でない、が怪しからん次第を見て居る內に、彼方より巾六尺ばかり長さ二間もあらふと云ふ板を楯にして、流れる水を上手の方へ力に任して、グッと音を生じて水を押出すものがある、此板をグイと上に引拔ますると、水は元より下手に下りまする、と平水に相成る、左うする內に先に溢れた時に魚が上に躍りまして、水が引くと地の上に居て元に歸る事が出來ず躍て居りまする、是を拾ては腰なる籠に入れて、又ぞろ此板を以て川上へ押戻ると、水はカラ／＼として陸に溢れる、宜しき時分に板を引きまするから魚が陸にあつて躍つて居りまする、夫を拾つて籠へ入れる、鹿之助其男の力を見て大に驚きました、斯て側へ來ると鹿之助　鹿「アイヤ暫らく」と聲を掛けました、彼の男は驚ひて其處へ手を仕へ　男「れ武家さまのれ出でと存じませんで、思ひもよらずとんだ失禮を致しました　鹿「イヤ／＼苦しふない、其方は業に致してなすこと、併し世に珍らしい漁夫もあればあるもの、網を持ち釣をする、夫々の漁具と云ふものがあつていたすに、其方は何んの道具を持たず珍しき漁を致す奴ぢや、併し其方の方には驚ひた、餘程の大力なるものだ、シテ其方は此地の者であるか　男「ヘエ夫れ尋ねに預かりまして面目次第も御座ひません、私の祖父の代には都に居りまして、山縣中納言殿に仕へましたが、私は幼年の頃此の村へ來りまして、何も都の事は存じません、過る頃兩親も相果て何とする業も御座ひません、ケ樣な業を致して今日を過して居りまする、元より貯への田地もなく、折に觸まして人の雇ひを爲し、馬の口を取りまする暇にはケ樣な事を致して居りまする……　鹿「其方は夫れ丈ケの力があるなれば右樣な事をせずとも、何か他に武家奉公でも致したら好から、敵の兜首でも取れば隨分立派な武士になれる、軍と云ふものは毎日あるものではない、三年に一度、五年に幾度と云ふもので、戰場へ向へば身を忘れ、命を忘れて戰ひをしなければならん、其代り出世も致す、夫だけの大力があれば武家になる氣はないか　男「有難ふ存じます物を書事は知らず武藝は知らず、何にも出來ませんから武家にはなれません　鹿「イヤ／＼左うでない天晴其力あれば其道は忽ちに得らるべし、志だにあれば何事も難き事にあらず、奉公の志あれば宜しく此方が導きを致さう　男「夫は有難ふ御座ひます、れ草履を摑んでなりと、犬馬の勞は厭ひません、御召使下されば有難す仕合せで御座ひます　鹿「然らば三ケ年の後中國尼子へ尋ね來れ、其際如何とも致すでわらふ、シテ其方の名前は　○「伊助と申します　鹿「苗字は　伊「ハイ祖父は山縣樣に仕へまして吉川千右衛門と申したさうで御座ひますから苗字は吉川で……　鹿「ムウ左うか、當時は變名でなければ人の耳に入らぬによつて、其方は早き川に於て鮎を捕て居たのであるから、今日より名を改めて早川鮎之助と名乘るべし　伊「有難ふ存じますと、玆に早川鮎之助と云ふ一人の豪傑を得ますする、是より追々變名の豪傑が集つて參りまする、と云ふ御話は次回より追々申上げます

東京電報(十九日)

▲東宮殿下御遊獵 皇太子殿下には昨十八日午前七時東宮御所御出門埼玉縣越ヶ谷在大投御料場に成らせられ鴨獵あらせられ獲多の獲物あり午後七時御歸還あらせらる

▲皇孫殿下御避寒 三皇孫殿下には來二十二日神奈川縣下熱海御用邸に御避寒相成るべく御治定相成りたり

▲韓海漁業成立期 安藤謙介氏等の發起する韓海漁業株式會社は明年一、二月頃成立する豫定なり

▲日露郵便改正條約 日露郵便改正交換條約は明年一月一日より實施の豫定なりしが豫定の實施期を延期したりと

▲委員會公開禁 衆議院各派交渉會に於ては議會に於ける豫算委員會を始め各種委員會を公開せざる事に決したり

▲委員會閉鎖反對 帝國議會の委員會閉鎖問題に關しては都下の新聞紙は反對せり

▲滿鐵株主總會 南滿鐵道株主總會は今十九日午後二時より商業會議所に於て開會年六朱の配當及び法定、特別、積立金等を決議したるが其決算左の如し 當期總益金(九百四十一萬一千二百四十圓六十五錢二厘)同總缺損(金八百七十七万八千二百四十八圓三十八錢七厘)差引純益金(六十三萬二千九百九十二圓二十六錢五厘)

▲衛生博覽會出品 明年五月獨逸ドレスデンに於て開催の萬國衛生博覽會に出品する食料品は原料品として米、麥、大豆等各種の農產物四十八種製造品としては茶、素麵等約二十種にして此外農產物に關する寫眞及模型二十餘品ありと

▲果樹栽培組合 米國カリフオルニア洲に於ける果樹栽培組[illegible]在留邦人の損害多大なるべし

▲官鐵營業成績 去月中官鐵全線の營業成績は客車收入三百六十四萬六十六百三十一圓貨車收入三百八十三萬二千六百八十圓合計七百四十七萬八千三百十一圓なり

▲警視廳官制改正 勅令を以て警視廳官制を改正[illegible]從來二十四警察署を八十四警察署に增加し尙ほ警視總監は必要と認めたる時は便宜的方面觀察派出所を設置する事となせり

●平南農民の收支 最[illegible]は其耕地を水田二反五畝畑二[illegible]し家族を夫婦と老人一人小[illegible]五人として歳入百五[illegible]歳支出百四十八圓餘に當り差[illegible]の剩餘金を擧げ得ることとなり中農は歳入[illegible]二十二圓餘、出百二十四圓餘差引約二圓の不足となり小農は[illegible]入納九十圓出納大十一圓にして一圓餘の不足を生ずべき勘定なるが右歳入費目は精米、粟、蜀黍、大豆、稗等の賣上代各種副業よりの利益、鷄及び卵賣代、藁代等に渉り中小等は右の中歳入上代等を含み歳出費目は牛飼育、垣根に於ては各費目漸次遞減し歳出に於て[illegible]代、酒代、家具、食料、衣服、塩、煙草、修繕費、税金等に於いて自然それぞれ[illegible]魚肉、交際、教育の諸費、結税、種子減少を見るものなりといへり

▲飛行機成功 今朝ファルマン式飛行機の試驗を行ひたるが德川大尉試乘して七十メートル飛揚し試驗二回に及びて成功せり

雜　報

●李王家職制 李王家職制の發表は寺內總督の歸任以前に於て爲ざるべしとは近頃取沙汰せらるゝ所なりしが同制案は既に脫稿確定の運びに至れるも尙李王家の會計規則並に官吏任用令等に關し尙ほ審議を要すべきものありとの事なれば或は本年內に於て發表し難かるべしと云ふ而して同家職員は長官一名次長一名參事數名にして以上は六名の勅任官任用せらるべく參事は舊との侍從職に相當するものにして勅奏任官を以て補せられ其他事務官、典醫、典祀、技師、技手、屬等にして其の人員は現在殘務を處理中の人員と大差なかるべし

●露帝御命名日 十九日は露國皇帝ニコラス第二世陛下の御命名日に相當せしより當露國總領事ソモフ氏は午前十時より午後一時半迄祝賀を受けたるが其重もなる人々は山縣政務總監、明石警務總長、各部長官、小松國分兩局長、各國領事等なりし

●寺內總督の歸程 既報の如く寺內總督二十日午後三時二十分新橋發列車にて出發下の關へ直行し同地に一泊して二十二日光濟號にて釜山へ航し二十三日陸路着京すべしと

●淸國公使の歸京 西北地方を巡視中なる淸國公使は二十日平壤より歸京する筈なり

●退韓命令削除 去る明治二十九年法律を以て發布されたる淸國及韓國在住日本帝國臣民の取締法中退韓命令に關する事項は日韓併合の今日最早や存置の必要なきを以て當局[illegible]少の議論ありたるも結局之れ[illegible]る事に一決し今期議會に提出[illegible]

●漁權取消運動 朝鮮平[illegible]海に於ける鯨網漁業は佐賀[illegible]岡、熊本四縣出漁者が發見開[illegible]ものなるが過般東洋拓殖會社[illegible]免許され同社の經營施設其當[illegible]が爲め前記の四縣の出漁者は[illegible]害され居るより愈に第十五回[illegible]業大會西村會長より右漁權を[illegible]縣當業者に免許を付與されたき[illegible]總理大臣幷に朝鮮總督に請願したるが未だ何等の消息に接せざるとて十六日來佐賀に四縣聯合會議を開きたるは既報の如くなるが種々協議する所あり其結果東拓が漁權を得し以來魚類の相場高騰したると漁獲物の收容甚だ當を失したることの漁業監督不行屆のこと並に設備不完全の事を具し四縣知事より更に當局に陳情する事に決したりと

●朝鮮實業家招待 東京商業會議所は明年三四月頃を以て朝鮮實業家の重なる連中を招待し以て意志の疏通を計ると同時に將來朝鮮に於ける實業の發展方法に就き協議せんとの計畫あり多分朝鮮に於ける日本人商業會議所の內地商業會議所招待となるべく其具體的に決定すべしと

●教育制度囑託 朝鮮人教育の方針[illegible]体臺灣に於ける[illegible]母國とは全然別樣の制度を採用する筈にて右の方針に基き慶應義塾幹事たりし石田新太郎氏を總督府囑託と爲し其調査を爲さしむることとなり同氏は近々渡鮮の筈なりと云ふ

●油房計劃起る 滿洲方面の我特產物家は朝鮮大豆の有望なるに着目し京城に油房を設立し豆粕製造を爲さん計劃を立て近々地點選定及び其準備の爲め來京すべき筈なりと

鐘路軌道問題に付

●鐘路住辯護士高橋章之助氏談●

鐘路通り電車軌道問題に付現在同通に事務所を有する高橋辯護士の意見を質せしに氏の答は左の如くなりし

尋ねの所謂中央敷設論を可とすべきか將た現在の偏在論を可とすべきかは殆んど問題にならぬと思ひます、一体軌道を市街の一方に偏して敷設するとの不可なるは種々の理由から明白でありますから勿論此の機を以て斷然道路の中央に敷き直すことを要求します

私は東京に居ました頃、市區改正員として實際に道路の廣狹或は市街を貫く軌道の位置に因りて沿道の商賈殊に小商人が多大の影響を享くることを知つて居りますから此の問題に就てはずつと以前から不平を抱いて居つたのです

それに特に申上げねばならぬのは軌道が凸出してる爲に人車馬車が之を橫斷する際に少しでも斜になりましたらそれこそ大變です轉覆するの危險は毎度實驗してることですから之れも此際是非軌道に石を敷いて平にして貰はねば困ります、元來半島の首府といふ場所が未だに市區改正の實行せられぬのを遺憾とします、私は思ふ、總督府に市區改正局といふ樣なものを置て強制收[illegible]以て斷然たる市街の改修をし[illegible]いものです、勿論色々な事情[illegible]せうが相當な賠償を以て審査[illegible]て遣つたらオンドロの如きを[illegible]て仕舞ふのに差支は無いと思[illegible]門通りや其他の市街の改修に[illegible]計しては蹉跌したなどは餘り[illegible]の手が鈍いといわねばならぬ[illegible]市區改正の時には地圖を白紙[illegible]で設計線を引いて着手したも[illegible]ういふ風に斷平たる手段でや[illegible]とても駄目ですナー、兎に角[illegible]は私ばかりじゃない沿道一般[illegible]る影響より是非共中央に敷き[illegible]はねばなりません云々

●仁川商業會議所 仁川商業會議所は十九日午後六時より臨時總會を開き十七日役員會にて協議せし四十三年度收支決算報告の件決議せし由

●無煙炭積出終了 鎭南浦中村組請負にて若松港へ輸送する兼二浦の無煙炭積出は兼二浦附近の流氷甚だしく積込み極めて困難となりたるを以て愈々同地二十日出港の甦海丸を以て本年の積出しを終了する由なるが本年中に輸送したる無煙炭は八萬一千五百八十餘噸なりと云ふ

●太田驛と負褓商 京釜主要驛たりし太田が三南鐵道の分岐點となりて以來貨物の集散頓に激增し日鮮人の此處に會する者又甚だ多く商況殷盛を致せしを以て負褓商中央幹部にては同地に營業出張所を設け負褓商の一大問屋となさんとする內議一決したるを以て早晩實現を見るに至るべし

●關釜連絡送迎船 從來門司側に於ける關釜連絡の送迎船は午後九時同港を出航する筈なりしが過般九鐵の時間改正の結果關釜連絡船より上陸の旅客並に乘船の旅客共何れも接續せしむ可く同船を午後九時十分にて棧橋を出航する事に變更ありたり

●司法官會議終了 過般來京城地方裁判所管內判檢事事務打合會を當地方裁判所に於て開會中なりしが十七日を以て全く終了したり

●稅制調查會 當民團稅制調查會總會は來廿三日頃開設すべしと

●教育俱樂部總會 京城教育俱樂部にては明二十一日午後六時より京城商業會議所樓上に於て臨時總會を開きて役員の改選を行ひ終りて某文學士の講演其他種々の餘興を催すと云ふ

●京城の三田會 在朝鮮京城の慶應義塾同窓者及緣故者は十八日午後五時よりソンタクホテルに於て忘年會を兼ね三田會設立の爲め會合一同食卓を共にし中樞院參議尹致昊氏の挨拶三本武重氏の三田會組織に關する演話あり後一同懷舊談に移り和氣靄々の間に今後に於ける同會の發展を計り尙同會は京城三田會と稱し事務所を本町三丁目明治屋支店に置き幹事に左記六氏を選定せり

三本武重、西原久、濱口精、尹致昕、魚容善、崔相敦

●總督府の各部室 先頃來新築增工事中なりし總督府も此程漸く工事竣成し十八日內部が移轉せしより各部室共夫々位置を動かしたる中に內部は新舊兩廳舍の階下に位置し地方局は新廳舍階下に學務局は同舊廳舍に又新廳舍階上には行き當りが參事官室にして夫れより漸次左へ會議室、總督室、秘書官、事務室、政務總監室、總務部長官室、文書課荻田書記官室、人事局長室、人事局、武官室等にして外事局及び會計局等は從前の如くなりと

●巡查補採用試驗 十八、十九兩日間警官練習所に於て巡查補採用試驗を執行せるが受驗者百四十餘名に達し大概日本語に通じ居れりと云ふ

民團議員の豫選投票

總督府令により我京城の民團議員は近く改選せられんとす本社は此際公益の爲め民團議員の豫選投票を行はんとす詳細は次號の紙上に記すべし

●宇佐川總裁歸期 東拓總裁宇佐川男は先日鄉里山口縣に於ける不幸の爲め一時歸鄉したるが一昨十七日再び上京したるを以て歸任は廿四五日頃なるべしと

●柴參謀長の着任 新任朝鮮駐劄軍司令部柴參謀長は豫定の如く昨日釜山に上陸出迎の爲め出張したる竹內副官と共に十九日午後八時龍山着の旨其筋に報道ありたり

●市川參謀長巡視 第二師團參謀長市川大佐は今十九日より新義州地方の巡視をなすと云ふ

●佐々木氏の東上 十七日出發東上の筈なりし東亞煙草株式會社朝鮮總販賣所長理事佐々木唯市氏は豫定を變更し定期株主總會出席の爲め十八日夜東上せり

●岡本中佐の歸任 新義州地方へ出張中なりし軍副官岡本中佐十八日歸任

●新舊參謀長の招宴 二十一日師團長、鎭海灣要塞司令官及び新任柴參謀長、軍司令部其他關係ある人士を招き午餐會を開く由

●鮮米定期取引中止 大坂堂島米穀取引所が計畫中の既記移入朝鮮米を其定期取引に付するの件は以來種々調查する所ありしも實際上取引の間には弊害の生ずる恐れもあるやにて計畫の進行遲々たりしが其後の仲買委員會に於いて此のこと內議に上りしも否認に歸着したるを以て同取引所は旁々前記計畫を中止するに至りたる由

寄　書

民團議員選擧に付き　南大門生

京城新報記者足下

筆硯益御勇健奉賀候扨先般來五里霧中に迷ひ居候民團問題も貴紙の主張貫徹して愈存續と決し候由貴紙の成效はさることながら不肖民團の一員として御同慶の至りに存候已に民團が將來に於て如何なる名稱に變更致候とも永く自治体として存續致候上は自治政に參與すべき議員の必要なることは勿論の事に有之候玆に於てか總督府は府令を以て來る四十四年一月三十一日を以て新議員を選擧すべく命令を下され候。

記者足下、足下は十八日發行貴紙治外法權欄に於て議員選擧に關する注意を與へられ候、足下曰く、各候補者は宴會及請託政略を避けよと、亦曰く、縣人會に據つて運動することを避けよと、而して終りに曰く、京龍派を作り黨を爲して競爭することを避けよと、嗚呼、記者の注意は一々尤もにして議員候補者及選擧民の謹んで服膺すべきものと被存候。

之を從來の例に徵するに凡ろ民團議員の選擧運動中其最も陋劣なるものは宴會政略及び請託政略に候宴會政略とは議員候補者が選擧有權者に向かつて酒食を供する者而して過去に於ける實例によれば候補者自らは之が爲めに數百金を費し其結果として大に害毒を流し候、請託政略とは候補者が選擧有權者に向かつて商業上の資金を融通し或は運動者を廻して投票を買收せしめ亦は選擧當日に於て人力車等を供給するものに候、宴會政略と云ひ請託政略と云ひ選擧民の良心を痲痺せしめ選擧の公平を妨ぐることは一にして各候補者共に來らんとする選擧に於ては何分ともに此事なからんことを期すべきものと被存候。

若し夫れ京城龍山の分裂競爭に就ては全く貴紙の注意の如く絕体的に此事なからしめんことを期すべきものとも存候、萬一京城は京城、龍山は龍山として候補者を立て爭ふごとき事あらんか比較的多數の有權者を有する京城側が勝利を得べきは無論に候得共如斯は徒らに地理的偏見を民團政に混ずるものにして同一民團の繁榮を永遠に維持すべき所以に無之候。

最後に於て生は貴紙注意中の縣人會を利用云々に就て一言致候、我現在の京城民團は內地各府縣人を網羅する一の自治團体に候、此團体の組成要素たる吾人が何々府人、何々縣人と鄉里の關係を以て府人會及縣人會を作り居る事が已に愚の極に候、而るに從來の例に因れば議員候補者たるものは盛んに鄉黨的關係を鼓吹し府人若くは縣人會を利用して當選を期したる者に候、何々府人とは何ぞ、何々縣人とは何ぞ、吾人の今日は已に內地の鄉里を見捨て斯土に移住したる者に候、何々縣人、何々府人と稱せしは過去の事にして今は同樣に京城府民團の組成要素と化したるものに候、同一府民團に關し未來永刦利害を共にし善惡共に運命を分べき吾人が過去の出生地別を以て民團に爭ふなどは沙汰の限りに候。

記者足下、生は自ら候補と成る考もなく亦候補と推さるべき資格を有せざるものに候、併し團員として一票投入の權利は慥かに有し候、此一票は何人に投ずべきか、曰く、總ての醜運動を避け悠揚自若唯だ衆望に因つて當選を期する高潔の士に投ずべきのみに候。

●天氣豫報 自十九日午後六時至二十日午後六時

北東風曇但少雨

公人私人

▲宗像十郎(筑前製鐵所技師)十八日入京山本旅館へ
▲貴布根康吉(安東縣領事館書記生)入京中の所十八日安東縣へ向け出發
▲西村茂夫(鐵原區裁判所判事)同上鐵原へ
▲淸水源(春川區裁判所判事)同春川へ
▲宇野雄苗(同上檢事)同上

▲京龍兩驛の貨客▼

●南大門驛乘降客(十八日の分)
乘車客 六〇八　下車客 八六〇

●南大門驛收入額(十八日の分)
客車收入 一、〇〇八、五四〇
貨車收入 六五八、三九〇

●龍山驛の收入額(十八日の分)
客車收入 二〇三、〇二〇
貨車收入 三五九 四一〇

▲仁川港の船舶出入▼

▲神州丸 十七日大坂より入
▲音羽丸 同橫濱より入

相場電報(十九日)
(明治町西村支店着電)

▲大阪期米(十七日)
▲相場十二月止十四圓五十六錢▲一月止五十七錢二月止九十二錢▲後場十二月寄五十四錢▲五十一錢▲一月寄五十九錢▲止五十七錢▲二月寄九十七錢▲止(不明)▲同(十九日)前場十二月寄十四圓五十一錢▲一月寄五十九錢▲二月寄九十八錢

▲仁川米豆取引(十七日)
▲後場十二月寄出來不申▲二月寄九圓五十錢▲最高五十三錢▲最低五十錢▲止五十三錢
●同(十九日)相場十二月寄出來不申▲一月寄九圓五十五錢▲最高四十六錢▲最低五十四錢▲止五十五錢

▲大阪株式(十七日後場)(二月限)(當日前場)

銘柄	十七日後場 寄	十七日後場 引	當日前場 寄	當日前場 引
▲神戸電燈	三七、七〇〇	三七、九〇〇	三七、七〇〇	三七、八〇〇
▲京坂電鐵	五九、六〇〇	五九、六〇〇	五九、九〇〇	五九、五〇〇
▲鐘淵紡績	一〇四、六〇〇	一〇四、六〇〇	一〇四、六〇〇	一〇四、四〇〇
▲日本郵船	九七、九〇〇	九七、九〇〇	九七、七〇〇	九七、五〇〇
▲東京株新	一三一、六〇〇	一三〇、四〇〇	一二九、七〇〇	一二八、二〇〇
▲大坂株式	一四二、三〇〇	一四二、九〇〇	一四〇、七〇〇	一四〇、一〇〇
▲同直取引	一四〇、六〇〇	一四〇、〇〇〇	一三九、二〇〇	一三九、〇〇〇

▲京城手形交換高▼

十二月十九日　金高 八八、一八七、七三　枚數 三九五

▲治外法權▼

今度米國の國會へ米國沿岸の防備案が出た、曰く、現在の防備を以てしては日本及び支那よりの侵襲に堪へ得ずと、アー、支那は知らず、日本には米沿岸を侵すような惡い了簡はチットもない、ヤンキー君ツー慌てずと良からう▲サテ不思議な考を持つて居るのが米國の政治家だ彼等は一方自國の防備の不完全なのを悲觀して居るかと思へば他の一方では支那に五千万弗を貸附けて財政顧問役でを遂らんとして居る、玆に於てかドッチが本音やら判らぬ▲東拓の吉原副總裁が其筋へ辭任を申出でたと云ふ本紙の記事を秘書役長の嶺が非認したッウだ、併し嶺か幾ら非認しても事實は事實だから仕方がないさ▲一体吉原副總裁は若いときからの肺病で今では肺臟がカタツポしか無いのだ、ダカラ變生しいヤット生きて居るのだ、トコロデ肺病に最とも惡いのが極烈な寒氣で、京城の寒氣は吉原に堪へ得られぬのだ▲尤とも吉原とて命を捨てる氣なら居つて居られぬことはないのだ、併しソコにはソレ東拓の改革と云ふヤツが近々の中に來るのだ、彼れが健康云々を理由として辭任を申出たのは事ろ責任を解した沙汰だ▲ソコへ行くと嶺八などの眼先きの見ねぬことはドウか、東拓に對する中央政府の方針がドウ變つたかなどはゴ存じなした、調查調查でモー五六年位はヤッテ行ける積りさ▲氣の毒なのは市中一般の商家だ彼等は聯合大賣出しで赤旗を樹てる、提灯を吊るす、併し一向に客が來ない、一年一ペン當て込みの歲末が今の體で過ぎると、商人は干物だ▲移住民中最古參者の[illegible]人某の曰く自分は半島に來てからモー三十年餘になるが今年末の樣な不景氣は見た事がないと、アー此不景氣何に因つて然るか

●平南農民の收支

最近平安南道財務部調査係に於て管內農民の生計費に就て調査せる所に依れば彼等を耕地の全部自作、一部自作、全部小作の標準により大中小の三階級に分つ時は其耕地を水田二反五畝畑二反五畝とし家族を夫婦の外に老人一人小兒二人の五人として大農の歲收入百五十五圓餘歲支出百四十八圓餘に當り差引七圓餘の剩餘金を舉げ得ることゝなり中農は歲入百二十二圓餘、出百二十四圓餘差引約二圓の不足となり小農は入約九十[illegible]の不足を生ずべき勘定なるが右歲入費目は精米、粟、蜀黍、大豆、稗等の賣上代各種副業よりの利益、鷄及び卵賣代、蔬代等に涉り中小等は右の中歲入上代等を含み歲出費目は牛飼育、垣根に於ては各費目漸次逓減し歲出に於て[illegible]代、酒代、家具、食料、衣服、塩、獸修繕費、税金等に於いて自然それ〴〵魚肉、交際、教育の諸費、結税、種子減少を見るものなりといへり

●天氣豫報　自十九日午後六時至二十日午後六時　北東風曇但少雨

活動寫眞　殺面子

活ける南大門驛

一番眞先きに飛び込んだは他驛より來た小學兒童だ女の兒はスタ〳〵と通り過ぎたが男の兒は皆ストーブの傍へと驅け付けた、奇麗に掃除してある構內は無心の小供には中々に

有難迷惑な撒水

だ、ぱたりと一人は滑り轉げたは痛はしい一等の待合室には赤帽と驛夫が新聞を挿んで居る、案內所より出た一人の男は、赤々と燃へ立つストーブを背に今日の京城新報を取つて講談を讀み始めた、三等待合室にはやまとの配達二人、新聞を投げて奥の暖爐を占領して居る、足を投げ出して細くもあらぬ膝頭を驅け出す三十角向のれ神さんには傍の客が却て恥づかしい、時計は

午前八時三十分

を示した、靜かなりし構內は、俄然其光景を一變して、ぞや〳〵と、徒歩のもの、車上のもの、美人、紳士、軍人勞働者、後より續く人波は、冷たき空氣を攪はした。

京都憲兵分隊行大尉三浦快哉、と書いた大行李は扱所の棚上に陳べられた、想ひは忽ち山紫水明の舊都に馳せた、京城ソンタクホテルバスト出、平壤タイアン殿と早書きせるトランクは、つと目の前に顯はれた引越荷物柿原猪策と記した大小行李は、まだ入口に車上のまゝ止めてある、殖民地……移轉と一種味氣なき連想が起つた、

一十一圓五十一錢　滊車賃
一四十錢　チゲ賃
一　小荷物

と、インクの乾かぬ半切が棚に乘つて居て夫れで人は見へぬ、要するに用意周到なる使ひの者の心覺へなるべし、れく樣のた氣に入りであらう、發車時間の

午前九時

釜山行列車はボギー車五輪、柵外に正しき妻を橫たへて乘客を迎へ入れた、け付た一人の兵士入場券を手に、撒水の凍結に、ツル

五十錢銀貨

も、其手より拔け出して全速力の滑走、、、ピリ、列車は搖き出した時しも將に、九時八分……

新義州行の九時十分入れ異つた列車は淋しく烟りを吐く、調法なる哉、入場券の二重使ひ、釜山と義州、朝鮮縱斷の長き御挨拶も、プラットホームの向ふ前、便利此上なきこそ文明の餘澤であらう列車は十七分に發した、あ〜ポンカチーフに哀別離苦の悲劇も見ず〜忙然踵を返へせば、暖爐人なく寂寞、壁間の美人、轉た別を惜むが如くに見へた。

照子の起請濫發
▽物騷な京城花柳界

起請警紙を濫發して男を誑すは勤めする身の生存上必要條件、仲人立て〻貰つた女房でも偶には我つまならぬつま重ねするもある世の中なれば詐りは自分一人が情人と自惚るが不覺にして欺した女の罪にあらずと記者は他人の事だけに諦めもするが扱欺された身になると愚痴も出やう腹も立たう夫れも滿更無理ではなしと兩方を思ひ遣つて居ては果てしもなき事なりされば何れが馬鹿で何れが薄情かは見ん方々の御判斷に任して只有りの儘を紹介せんに原籍兵庫縣赤穗郡鹽屋村當時京城南山町

松葉亭に住込みの相談

中にて同家に寄食せる岡本小弓(二十)と云ふは昨年來北韓羅南葛城通り竹の屋と云ふより照子と名乘つて名は藝妓ながら娼法一方に勉強する內馴染客の六七名もに對し所謂起請なるものを發行せしに此れを貰つた先生達孰れも隨喜の涎をたらして友人間に振り回すに乃元來狹い土地の事とて起請の鉢合せとなりしより利巧な手合はホイ一杯食つた哩斯る奴に掛り合つて居てはれ臀の毛迄拔かれるべしと遠ざかる如なりしも存外世の中は重寶なものにて其の中の一人

和氣

某(二七)(當時京城南山町某組の主任とか)は其樣こと〻知らず晴て添ふ日を樂しみに通ひ詰てゐ居り更らに同じ起請組の一人

稻垣

某(三八)(當時壽町土木建築請負業某組の支配人とか)も同斷……て切せと通ひ二千餘圓を費消したるのみか果ては

千餘圓

と云ふ大金を拋り出し照子を

落籍

して世帶を持ちたり照子身の自由になりしを幸ひ稻垣の油斷を見濟まし左樣ならとも云はずこそ和氣某と手に手を取つて京城に

馳落ち

洒落れ唯ある所に潜伏したり一方稻垣は照子の出奔せしに仰天し漸くにして京城方面に出走せしを確め得しより上京して其の所在を突留め伴れ歸らんとせしにぞ茲に和氣某との衝突となりしが双方とも起請を楯に悶着を惹き起せしを双方の懇意なる南大門筋に住む松本某及び岡某が調停に力めたるも我意のみ言ひ募りて解決すべくもあらぬにぞ松本、岡の兩人は釜山幸町の土木建築業

黑川

某氏に出京の上調停せられんことを依頼せしに元來俠氣に富める黑川某は若い奴等も困つたものだ高が田舍藝妓の一匹位ひ引つ張り合つてるなんて醜態はねえや併し打ち寒つても置けめえと態々出京し關係者一同を長谷川町

鐵冷溫泉

の樓上に呼び集めて事情を聞き取りたる上這樣女に掛り合つて將來を誤るべからずしと二人とも手を切るが可しと大金を投げ出し一件

無事落着

せしも猶照子は和氣某と私かに舊交を溫めて居るなりとは性懲もない人達かな然るにも此の凄腕女の飛び込んだ京城花柳界の今後こそ物騷なれ

氷上運動會に付
龍山有志

京城新報記者足下

時下愈 結氷の期節と相成候處益御淸榮御繁多[illegible]奉賀候陳者時節柄半島在住者の爲めに適宜の娛樂會御催し下され間敷哉小生等の考にて近時內地諏訪湖及び大連邊にて盛に歡迎せられ居る氷上遊戲會尤も適好と存じ候御承知の如く昨年は日の出新聞主催にて漢江氷上に於てスケート會有之甚だ盛大を極め冬季娛樂として此上なきものと一般の世評と贊同を得たる次第に候得者今回は是非貴社の御主催を以て御擧行下さる樣致度希望に不堪候御繁多中には候得共半島在住者の爲に御盡力賜はり度紙上を以て願上候

●記者曰御希望正に諒承仕候兎角御希望に應ずべく候併し諸事調査準備の上追つて確定發表可仕候

爆殺犯(未遂)の公判
▽米駒……高田喜一が事

去る十月三十日未明新町遊廓玉家の娼妓米駒を爆殺せんとしたる高田喜一が殺人未遂として起訴せられたる事は既報の如くなるが該事件は昨十九日京城地方裁判所刑事部法廷に塚原裁判長伊藤檢事の係りにて公判開廷せられ被告は絆の羽織を着し[illegible]として法廷に立つ辯護人として高橋辯護士出廷、被告高田の傍聽人三十有餘人の中にも岡田組店員四五人あり裁判長は高田に向ひ事實の審問を初め被告高田は豫審及檢事廷に於ける申立を否認し米駒を殺す意思なく自己一人自殺の考なりと申立たり證據調に移り辯護人より證據品たるダイナマイトが人を殺す丈けの力ありしや否に付理學及化學專問者に鑑定せしめ同時に米駒を證人として取調あらん事を申請し伊藤檢事は之に對し絶對に反對は爲さぬが爆發物使用程度に因れば使用せる爆發物が人を殺す丈けの力なくとも火傷の爲め死に至らしむる事もあり檢事も本件は證據となり居る爆發物が使用の程度に因り米駒の身体が微塵となると迄は豫期せざれば鑑定の必要は如何ならんかとの意見を述べ茲に檢事と辯護人とに議論起り裁判長は合議の上不必要として却下せられたり證據調べ移ると同時に辯論に移り伊藤檢事は嚴然たる體にて論告して曰く被告高田が豫審及檢事廷に於ける申立を否認し自分一人自殺の目的なりと申立つるも犯罪當時の狀況及一件記錄の證據被告申立の体度等に因り所謂無理心中の意思ありし事は明白なり本件に付豫審決定當時の意見に法律適用に刑法上の殺人未遂罪の條項を適用せしが後日誤解なりしを發見せしに付該適用は爆發物取締規則第一條を適用し即ち他人の生命財產に危害を及ぼす可き目的にて爆發物を使用したる者は死刑に處すの條項を適用す然し本件は犯罪の動機に情狀酌量す可き點あるを以て本刑に二等を減じ懲役十二年の求刑を爲し罪となる可き理由を明白に論告あり之に對し辯護人は三十分に涉り反對の意見を述べたり言渡は次回開廷日に宣告す可しと閉廷したり

●杳なヒヨロツキ

三重縣一志郡中川村字小川二十五番戶田川庄三郎(三)は一定の住所無く賭博を本業として諸所を徘徊し居る其筋の注意人物なるが去る十一月三日午前九時頃知人なる京城若草町一丁目質屋江川彌三郎方に至り甘い具合に彌三郎を欺罔して名仙綿入羽織一枚同月十一日午後一時頃永樂町二丁目村瀨みつを許し吾妻コートを詐取入質し本月六日午前十一時頃亦も本町六丁目古物商濱田安二郎方に至り只今買ひ求め度いと云ふ者有る故一寸借し呉れよと友仙縮緬一反を持ち逃げしたるのみならず十三日午前十時頃本町七丁目古物商向島與七方に至り羅紗厚司一枚外一點を騙取したる事を南部署佐藤、川副、岸の三刑事探知する處となり目下同署に引致され取調中

●浪花館　初日より大入氣なる浪花節京山北星一座明二十日の演題は白石噺(虎奴)後藤又一郎(虎寄代)水戶黃門記(隅圓)大久保藤の丸(小虎丸)石山軍記(虎丸)義士銘々傳左り甚五郎(京山北星)なり

●早咲福壽草の分與　長野縣下高井郡延德村の高井擴農社にては多年草花の愛育をなしつゝあるが就中福壽草は同地の特產にして極濃黃金色八重裏紫紅の大々輪咲なるが同苗五本を一組として一組毎に送料箱代共實費廿錢を送る人には本月下旬開花の强苗に早咲秘法を添へ直ちに送呈し尙新年用冬花水仙にて極濃黃金色八重大々輪狂咲望みの人には三球を一鉢分とし同十七錢を送る人には何處迄も送り屆ける由なり

歌留多早取法(四)
▽巧手見る可らず

二、排列法(下)

之れに反して讀方が讀み上げると同時に自分が必覺への儘並べた札に手を遣る時には敵が乘じて來る隙と云ふものが少しもなく思ふ儘敵を飜弄し得られるのである、であるから出來得べき限り此並べ方を順序を正しくして、そしてこれと思ふ札には直ぐ自分の指先きが行く樣練習が第一である、此並べ方が充分腹に這入つてない人は無暗矢鱈に札を取れまい〳〵として手を振り廻すのである、又讀方が讀む度毎に手手で札を押へ付ける癖の人がある、之れ等は是非矯正して欲しい、凡て此讀まれた札以外の札に手がさわつたなら敵と自分のとを問はずれ手付と云ふて罰を蒙るのが順當であるが、又中には張子の虎よろしくと云ふ見得でしきりに首を振つてやる人がある、之等は自分の札や對手の札を悉く見渡すには便利はよいかも知れぬが皆に見苦しい、こんな事をせぬからとて斯道の上達は容易に出來るのであるから是非止めて欲しい夫れから目の付け處である之れが又最も必要であつて此心得が惡かつたなら折角苦心して並べ方を研究し〳〵が水の泡になつて仕舞う、然らば何處に一番目を働かす必要があるかと云ふに敵の札の中央に注ぐと云ふ事が必要である、眼を中央に注いでいたならば左右に一廻轉せば敵の札全部が悉く一瞬の許に集る許りでなく、大いに敵を牽制する功がある、戰爭半ばに自分の方の札を見たり又は敵陣の左方のみ見詰めて居たり右方許りを注目してゐたりしたならば却つてくみし易しとして敵の襲擊を受け散々にシテ遣られる、畢竟は心掛けが足らぬからである、右方を見れば敵は左の方を閑却し左を見れば右を閑却するのは自然の數である、況して戰爭中自分の方を見る樣では敵のあなどりを受けるのは當り前である、自分の方は自分の必覺への儘札を配列してあるのだから何處に何札があつて何處に何札がある位はちやんと記憶してある今更ら急がしい最中に自分の方へ首を曲げる必要はないのである、泰然として眼は敵陣の中央部を見下してそして時々左方右方の札を記憶を確める樣に眼のみを廻轉し自分の札は只並べ方の記憶によつて拾ひ取る樣にしたなら敵は如何ともする事が出來ず袋の中の鼠よろしくと云ふ有樣になるのだ、此態度が最も必要である。

要するに自分の札は記憶の儘一定の方式に依つて並べ、常に眼を敵陣の中央部に置ひてそして其札と種類とを暗記して居つて讀方の發音と同時に電光石火も啻ならぬと云ふ程の速力で自分の札の記憶を呼び起し、其排列に依つて有る無しを確かめ殆んど瞬間に否應め陣敵にある札を注目して置いて撥ねるのである、と云ふと何んだか六ケ敷い樣ではあるが馴れるに從ひ何の雜作も糸瓜もない樣になつて來て其膽の太くなるに從ひ知らず〳〵取れる樣になる事請合である、之れから更に進んで實戰上如何にせば必勝を得るかと云ふ事に就て御話しをしようと思ふ。

新年休養會の延期

本社は來春早々溫陽溫泉に於て新年休養會なるものを主催する計劃にて既に連日の紙上に亘り其趣旨を揭載し來りしが多數贊成の各位より、時宛も民團議員選擧の期に際せるを以て其終了まで延期されん事を申込まれたるに依り本社また之に贊して延期する事を決し茲に一般各位に告ぐ

▲平民文庫▼

▲朝鮮に於ける法制(現行)全部完結したる適當の書籍無之候や御存知の方は本欄まで御通知被下度し(龍山新市街石橋舌寒)▲三四年前奉天に居住せし事ある原田磯五郎氏の住所御承知の方は當欄までれ知らせを乞ふ(れ婦生)▲拙翠の秀子はんとモー一人は十二日から下仁して毎夜歌舞伎座御見物のよし定めし目的を……れ羨らやましいねー(わたし)▲日進亭の吉子さん南大門外のスーチャンの綠さん、橫取りしようとして居る人が足許に有りますから御用心拔かりますな(忠告生)▲マー御親切だヂー(小僧)▲仁川府の綿鍋とか云ふ男は[illegible]魔化してると云ふ事だがマサカ總督府で其の位の事は調べて居るだらう亦此の男が會計と學校事務が頗る得意なる譯は盆と暮れにれ貰ひが多いからだソーだ(仁川○○)▲淸月樓の若松くん其後牧野は玉家の○○に變つたが振られても僕は若ちやんの事は如何しても忘れられんなんて惚氣たつぷり五性だから可愛がつて遣り給へ(一友)▲妾は一昨晚或家の娘さんと二人連れて大和町を通行の時三人の紳士連に出合つたするとオイ淫賣何處に行くなぞ云はれた時後から丸髷の婦人が私共の顏を見る〳〵笑つて行つた多分娘は島田で妾はハイカラであつたから淫賣など云ふたので有らふかとも考へましたが併し殘念でした御婦人方れ注意せんと頓んでも無い迷惑に合ひますよ(官吏の妻)

迅速確實に御取扱可申候
兼業 既製洋服御小賣 諸官衙御用達
京城本町三丁目
大阪野村鐵七代理店
田中友吉商店
電話九三九

名刺交換會
四年一月一日新年祝賀ノ爲メ御互ニ往復ヲ廢シ（以テ）虚禮ノ弊ヲ矯メ之ニ代ヘン爲メ來ル四十四年一月一日京城居留民團役所ニ於テ名刺交換會ヲ開催致度候ニ付御賛同ノ諸彦ハ奮テ申込マレ度シ
一會場 京城居留民團立高等女學校
一同時 明治四十四年一月一日正午
一會費 金五十錢
一申込期日 明治四十三年十二月二十五日正午迄
明治四十三年十二月十三日

名刺交換發起人（イロハ順）
石塚英藏 池田十三郎 市原盛宏 …… 古城菅堂 ……

特約店 仁川本町 松尾
國譽足袋

質
本町一丁目裏通り 支那領事館筋
南商店
電話一〇九六番

◉貸金
旭町二ノ一五 別府組車帳場筋向小路
有給者にて極秘密に低利融通可申候
高橋

瓦斯コークス販賣
京城南山町三丁目百十四番戸
酒井組
電話一一四九番

入院隨意
内外科 小兒病科 梅毒淋病
京城壽町三丁目
高井醫院
電話（二一六）
院長 陸軍軍醫正 高井貞治

蝶印バリカン
弊店製作の蝶印バリカンは理髪業者のみならず御婦人御小兒の御方にも容易に御用が出來る輕便なる新式毛刈器械にして切れ味宜く一々品物を試驗の上御送仕候萬一切れ味惡しき時は即時に御引替申候
一號二圓五十錢、二號金二圓、三號一圓三十錢、四號金一圓、送料二丁迄卅五錢
到る處ノ著名の打刄物販賣店に有り最寄にて御購求を乞ふ
和洋打刄物、歐米諸機器、建築用金物鐵管類山用器具、園藝及農具其他
東京日本橋通油町
湯淺七左衛門

新荷續々着
一レモン 一アップル 一ヲレンヂ
一干葡萄 新着
洋酒食料品ハ固ヨリ彩色箱、化粧品等新着荷致候 手遊品類近着
大陳列場御一覽被下度候
明治四十三年十二月
京城大漢門側
エルロンドン商會
（電話九九五番）

○西大門外アストル、ハウス前に庭園廣き洋韓折衷の高等貸家あり水道附屬家賃二十五圓

歳末御進物用の最適品大賣出し
精撰御砂糖 樽詰、上袋入 箱詰、砂糖切手各種
右例年之通品質精撰確實廉價に販賣仕候條多少に不拘御用命之程奉希上候
砂糖掛物類 製菓原料品 諸粉類一式
京城本町二丁目
澁谷商店
電話七七一番

歳暮と百福號
●東京御羽子板手遊品並に
●婦人小間物流行の數々
荷着大賣出し申候
小間物 化粧品 卸商
京城本町四丁目
百福號
電話七四六番
振替口座一二一一番

京城に於て最も勉强する靴店は獨り當店有のみ
特製靴の特色は體裁亦た優美頑丈にして久しきに堪へ價は低廉にあり
實用ボークス深ゴム 金四圓卅錢均一
舶來ボークスアミ上靴 形價
米國製ボークス右三種共金六圓均一
其他英米獨製キットボークス六圓五十錢より九圓迄
昨年以來右二品共均一にて賣出し候處破格の最特價の爲め多大の同情と高評を博し日々非常の御注文有之一時原料逼迫の處亦た澤山着荷致し候に付此好機を逸せず倍舊御注文の程希上候
●京龍間は御一報次第店員參上地方は御見本箱を送る
京城本町壹丁目 電話壹四七七番 郵便局前
歐米皮革直輸入
東京 北村支店

廣告
本年も最早餘日なく迎陽の備準に忙わしく候處御清榮の段奉賀候扨弊店儀開業以來日に〳〵繁榮に趣き今日ある至り候は偏に御引立の賜こ深く奉謝候就ては業務擴張に對し從來の活版印刷工場狹隘を告げ候に付左記の所へ新築中の處今般落成に付移轉一層勉强貴需を滿たし御引立に相酬ひ度右披露を兼ね歳暮御祝儀の印までに六勉强販賣仕べく候尤も歳末の賣出しに際しては多々景品券を差出し候得共弊店聊か見る所あり來る十二月十五日より同三十一日迄多少に拘らず粗品呈上可仕候間續々御用命奉願候以上

商品科目
和洋紙諸帳簿
文房具活版印
刷並に
製本種々

京城本町一丁目 北内商店 電話一一五二
同 本町五丁目 北内支店
同 旭町二丁目七十四番戸 電話一三〇三 印刷製本 北内工場

特約店
國譽足袋ハ裁縫緻密にして足に恰好よく内地は素より海外迄も高評を博しつゝあるは是れ本國の譽なり
◉販賣店ハ各地到ル所有名ナル呉服店及雜貨店ニアリ御買上ノ際ハ（商標）印ニ御注意乞フ
大阪南本町四 秋田製造
特約店 京城本町六丁目
藤富國商店
電話三〇八番 電略（フ）

一日にして効能は現る
複方 タルリン
りん病いらい薬
價 三日分 七日分 十四日分 廿錢 四十錢 七十五錢
處方、高橋病院長有効證明
本舖 日本大阪 高橋盛大堂
代理店 京城本町五 木下大盛堂 同南大門三 新井藥房
到る所の藥店に販賣す

懷中良藥
今日もお上りなしたか
平常お飲みですか
消化と毒消し
JINTAN ジンタン 인단 仁丹
梅毒新藥 毒滅
朝鮮代理店 京城南大門通 新井藥房

增築落成
高等御下宿
各室清潔洗湯設備あり舊倍御愛顧之程奉願上候
京城西小門通り
横松館
電話一五五五番

世の中に
見よ
次亞燐服用の力で體量は參百七拾磅を示せり
痩せた人 衰弱の方 産後の婦人 病後の補血 は試に壹瓶を召されよ
藥價 大瓶 壹圓五拾錢 中瓶 九拾錢 小瓶 五拾錢
◎賣捌は各藥店にあり

●かれこれと迷ふこと勿れ完全無缺の大學目藥あり
大學目藥
商標 登錄
大學目藥は帝國醫科大學病院の處方に基きし貴重の製劑にして●流行目●トラホーム●星目●のぼせ目●かすみ目●血目●疲目其他眼病一切に可驚奇効あり
定價 小瓶十錢 中瓶廿錢 大瓶五十錢 小二錢 中四錢 大八錢
發行所 大阪市北濱一丁目 ヘブリン丸 元祖 參天堂藥房

ハカリ印
大阪 かぜねつの最良藥 田口のヘブリン丸
參天堂藥房謹製
各藥店にあり・定價・五戔・十戔・十五戔・三十戔
京城南大門通 新井藥房
電話一〇六八 九〇四番
振替口座韓國十六番

薄口醬油
や
特約販賣 仁川京城 高雄支店

裁縫割烹教授所
規則書御入用之方は郵券二錢封入之事
京城大平町（神田組前）
野村さわ
（電話一四二〇番）

年末年始御進物品
サッポロビール
アサヒビール
一打半打化粧箱入
外に切手調進
ミュンヘンビール
清涼飲料シトロン
も御便利の爲め
一打箱入切手調進仕候

義齒術一般
京城明治町一丁目（森、村貿店隣）
榊忠司
取次電話六六九番

諸官衙御用達
營業科目
和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 謄寫版アシン 事務用品 ……
本社 京城明治町二丁目 電話（三〇番）
出張所 京城南大門通一丁目 電話三六九二番
……田合名會社

諸官衙御用品
無變 安心火止石油販賣 卸部
石油各種 鑛油各種
炭、薪、酒、醬油
日用食料品一式 小賣部
京城南山町一丁目百十四番戸
奈良屋商會
電話六八八番

見落給ふな
特別大景品附大賣出し
今般聯合大賣出の擧に際し當商會も加入罷在候間得ば倍舊の御厚情に預り度猶多年御愛顧にむくゆる爲め特別左の規定を設け大々的大賣出仕候間機を見るに敏なる賢明諸彥陸續御來求あらん事を伏希仕候
金口寶各種 葉卷寶各種
デーエス パ子レス商會
特別規定
當商會より差出せし聯合景品券（當商會スタンプ押捺あるもの）にて左記當籤者には下記の特別景品を呈す
一等、當籤者へは金口寶四千本 二等、當籤者へは同樣 一千本
三等、當籤者へは同樣 六百本 四等、當籤者へは同樣 五百本
五等、當籤者へは同樣 三百本 六等、當籤者へは同樣 二百本
七等以下三十等までの當籤者へは各百本宛 三十一等以下四十等までの當籤者へは各五十本宛
期日十二月十日より同月三十一日まで